

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（12月定例会）会議録
開催日時	平成21年12月18日（金曜日）14時00分から16時10分まで
開催場所	保谷庁舎3階第2会議室
出席者	委員：小川議長、濱崎副議長、岡村委員、倉島委員、齋藤委員、白木委員、須永委員、松嶋委員、宮崎委員、（五十音順） （欠席）高谷委員、本田委員、本領委員、山田委員 （傍聴人 2名） 事務局：下田社会教育係長、神田主査
議題	（1）今期の活動計画について （2）研修会について （3）報告、その他
配布資料	1 社会教育委員の会議今後の活動予定（平成22年11月～平成23年6月） 2 生涯学習推進計画実施計画（平成21年度～平成23年度） ・都市社連協交流大会資料 ・社会教育指導者研修会「地域教育フォーラム2010」チラシ ・（参考資料）第41回関東甲信越静社会教育研究大会関係資料 ・みんなの生涯学習 No.98
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

平成21年11月定例会議の会議録を確認後承認する。

前回スポーツ振興課の行政報告で出された質問への回答について（事務局）

・にしはらスポーツクラブの賛助会員の内容は、近隣のスポーツ店が賛助会員となっている。

（1）今期の活動計画について

今後の活動予定について、配布資料1に沿って事務局より説明。

・次年度は、都市社連協第4ブロックの当番市として、西東京市が研修会の企画運営を担当する事になっている。また、関東甲信越静社会教育研究大会が東京都で開催されるため、都市社連協として協力する必要があるなど、例年にはない活動が予定されている。

主な意見等

委員：

第4ブロックの研修会のテーマを考えていかなければならないが、私たちの研究テーマと重なるような内容でもいいのではないだろうか。

事務局：

第4ブロック研修会については、会場等テーマもまだ決まっていないので、今期の研究テーマに活用できる内容設定も可能だと思う。

委員：

地域生涯学習事業について、次年度は実施できないという学校施設開放運営協議会があると聞いている。他の学校施設開放運営協議会に影響が出なければいいかと危惧している。

委員：

地域生涯学習事業は、開始当初は実施事業数も多く盛んだったと思うが、事業数の減少に伴い、予算も少なくなってきている。

委員：

どんな事業をやっているのか。

委員：

落語やコンサートなどの文化活動や、防犯・安全教室などいろいろな事をやっている。

委員：

利用団体の協力等で事業を実施しているが、学校施設を利用しているスポーツ団体も少なくなり、事業実施の担い手が少なくなってきている。事業計画を立てる人がいないため、事業の継続が難しくなっているようだ。

委員：

利用団体の他にPTA関係者も運営に参加しているが、PTA活動だけでも大変なので、なかなか学校施設開放運営協議会に入って活動してもらえないようだ。

委員：

地域活動の担い手やリーダーをどう育てていくかということは、学校施設開放運営協議会の運営に限った事ではなく、公民館活動などでも課題となっている。

委員：

学校施設開放運営協議会にかかわっている人たちの話を聞いて、現状を把握して行く事も必要だと思う。

委員：

学校施設の利用についても、一部の団体の独占利用などが行われると問題だと思う。

事務局：

地域で学校施設をバランスよく利用してもらうため、学校施設開放運営協議会には、団体同士が譲り合って気持ちよく使えるような調整していただくことをお願いしている。各学校の施設開放運営協議会が集まる連絡会議を年に2回から3回開催し、その中で、施設利用に関する近隣の苦情等を報告している。社会教育課の方でも調整はするが、地域の課題については、できるだけ学校施設開放運営協議会の中で解決をしていただくようにお話している。地域生涯学習事業については、事業担当者が替わるため組織として事業を継承していくことが難しい状況がある。社会教育課としても事業の企画運営の相談に応じる他、今年度は事業担当者を対象に事業企画の研修会を開催するなどの支援を行った。

委員：

学校施設開放運営協議会の運営に係る人の養成も大切だろう。

委員：

地域の意識を高めるためにも、学校施設開放運営協議会の総会などで、活発な議論がされれば良いと思う。

委員：

今日の議論で地域活動の理想と現実が見えてきたように思う。

事務局：

地域の現状からみえてくる課題について、行政の施策として何が不足しているのか、どういった環境整備が新たに必要なのか等、そういった方向性、視点から助言をいただけるとありがたい。

## (2) 研修会について

議長：

今後の委員活動のために、近々で研修会を開催したい。講師は、ぜひ白木先生にお願いしたいと思う。内容は、生涯学習や社会教育に関する基礎的な事項や社会教育委員の役割などを考えているが、どうだろうか。

全委員：  
異議なし。

白木委員：  
社会教育委員とは何かといった内容でお話しようかと考えている。『改訂社会教育法解説』を資料として使って、委員同士が議論しながら進めていければと思う。

委員：  
社会教育法第17条の「社会教育委員の職務」を中心にお話を聞きたい。

事務局：  
他にも研修会で聞きたい内容があれば、後日事務局から白木先生にお伝えするので、事務局までお知らせ下さい。

決定 日時 1月15日（金曜日）午後2時～4時（研修会終了後定例会開催予定）  
講師 白木賢信先生（東京家政大学准教授）  
内容 （仮）社会教育委員の職務について

### （3）その他

#### 1. 松嶋委員より研修会資料に沿って都市社連協全体交流会の報告

- ・日時 11月28日（土曜日）午後1時から
- ・場所 東久留米市立中央公民館
- ・内容 各ブロック研修会の報告

基調講演「暦に見る日本人の知恵」（岡田芳朗：女子美術大学名誉教授）

- ・参加者 小川委員、倉島委員、濱崎委員、松嶋委員

#### 2. 松嶋委員より生涯学習推進懇談会（12月15日）の報告

- ・生涯学習推進計画に基づく実施計画が作成された。今後実施計画事業の進捗状況調査が行われるので、懇談会ではその進行管理をしていく。
- ・人材活用事業として、人材登録者による試行講座を懇談会委員の協力で2講座（古典文学・針穴カメラ）を実施する予定。

事務局より配布資料2「生涯学習推進計画実施計画（平成21年度～平成23年度）」に沿って、実施計画についての補足説明。

（質疑応答）

委員：  
施策番号2135-2「心の東京革命」地域アドバイザーとは何か。

事務局：  
東京都が取り組んでいる「心の東京革命」に関する事業を地域で推進するボランティアの方です。

委員：  
地域の子育て支援では親力を高めることが必要だろう。

委員：

学校の集まりや地域の活動などに来ない人をどうするかが課題だろう。

委員：

子育てに困難を抱えている家庭は、生活状況も厳しく、社会的にも孤立し、人の集まるところにはなかなか参加できない親が多い。生涯学習活動だけでは無理なこともあると思う。

委員：

地域の社会教育活動としては、少しでも意識を持ってもらって深刻な事態になる前の親を支援していくことができればと思う。

委員：

人の子には係らない風潮が在る。他人に怒られるのは筋が違うと思っている子どもも多い気がする。

委員：

地域の関係が希薄になると、近所の人や子どもが何をしているか分からず、何か事が起こってからあわてる状況になる。

事務局：

地域の連携や人のつながりを創り出せるような活動を、地域住民が主体となって進めていく事が必要だろう。

### 3. 社会教育指導者研修会「地域教育フォーラム2010」の参加確認について

- ・日時 1月30日（土曜日）午後1時15分から
- ・場所 東京都教職員研修センター
- ・参加予定 小川委員、濱崎委員、倉島委員、齋藤委員、須永委員

議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（12月定例会）は終了する。

次回予定 平成22年1月15日（金曜日）

研修会：午後2時～（研修会終了後定例会）